

図2 司会の困難さに関する主な意見

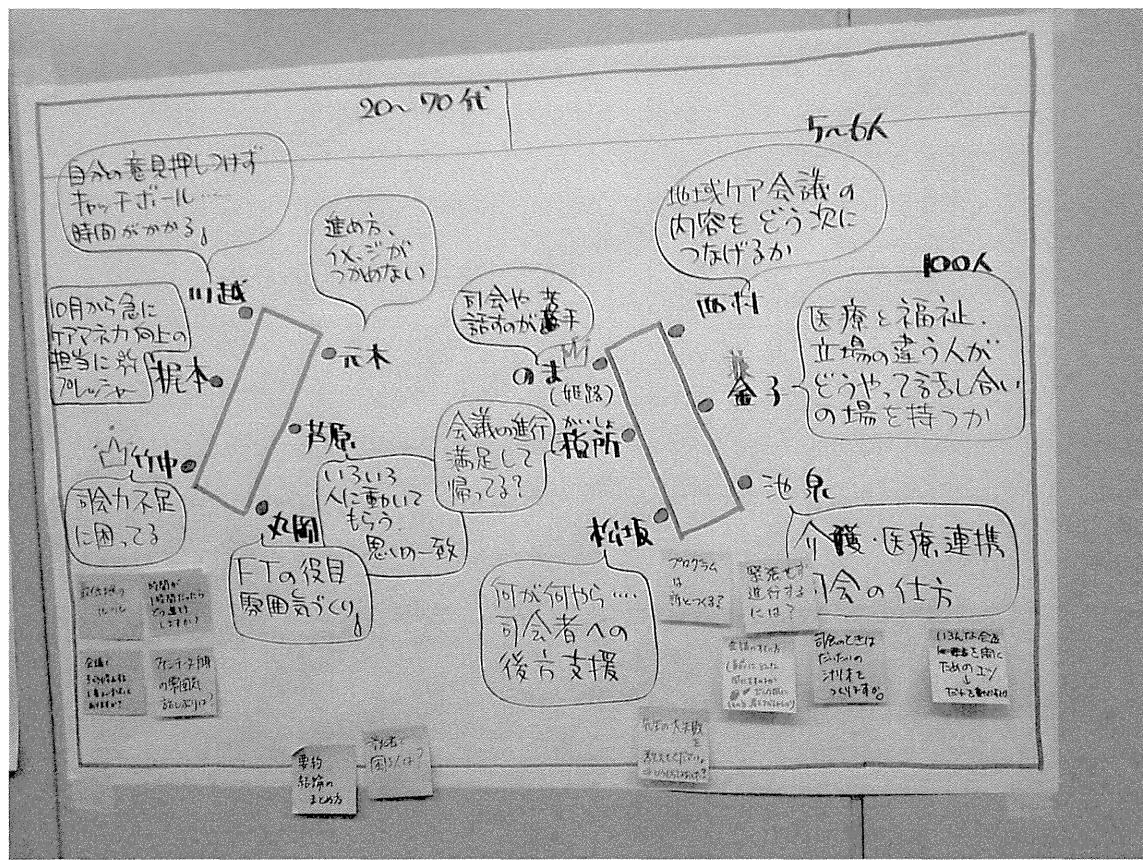


図3 グループワークのまとめ(1)

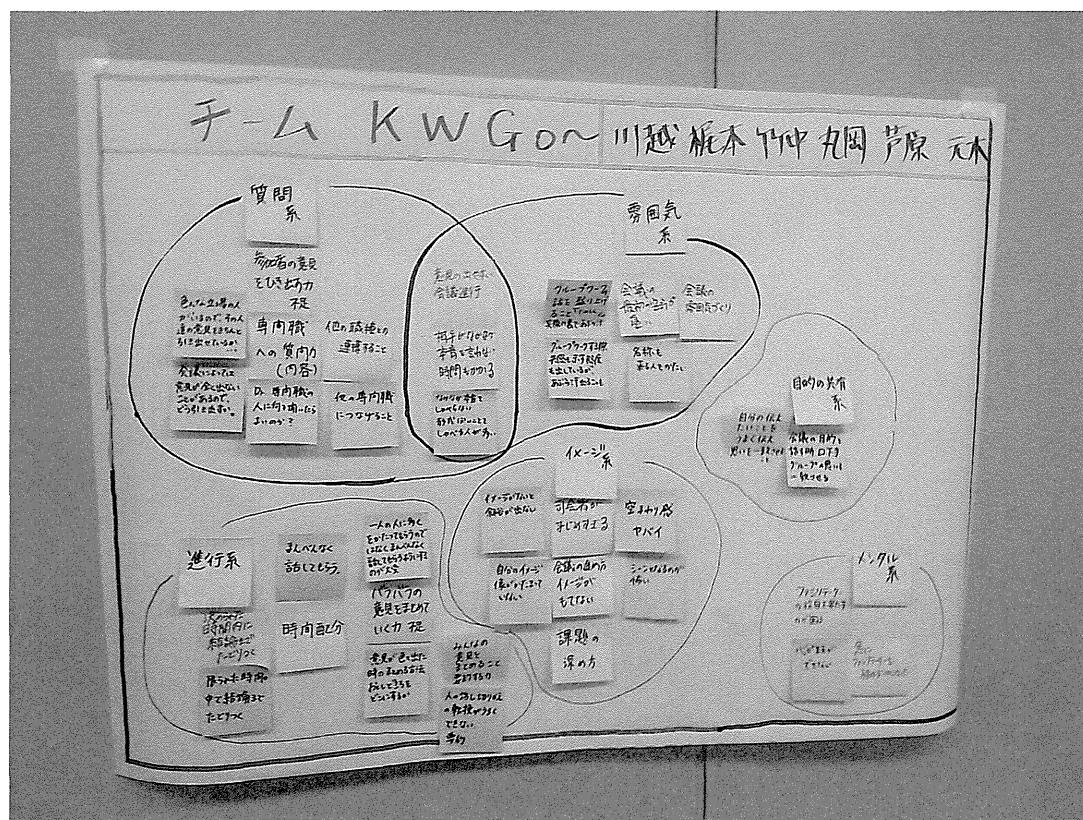


図4 グループワークのまとめ(2)

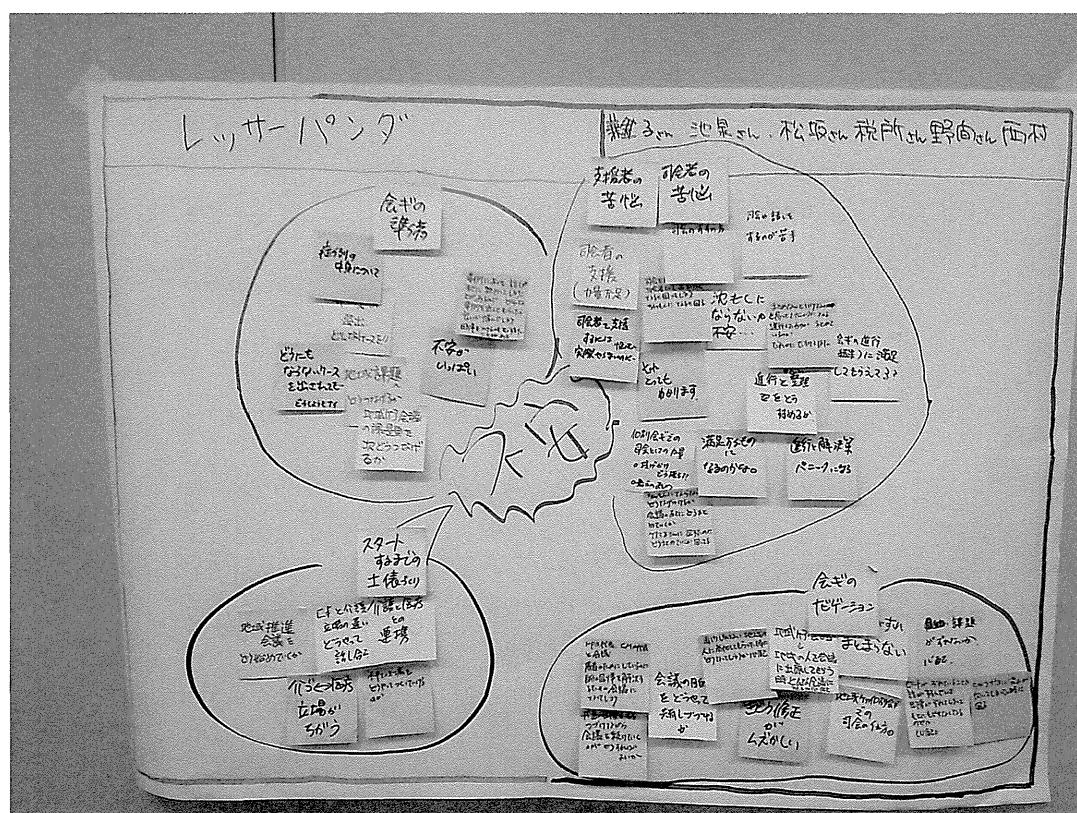


図5 グループワークのまとめ(3)

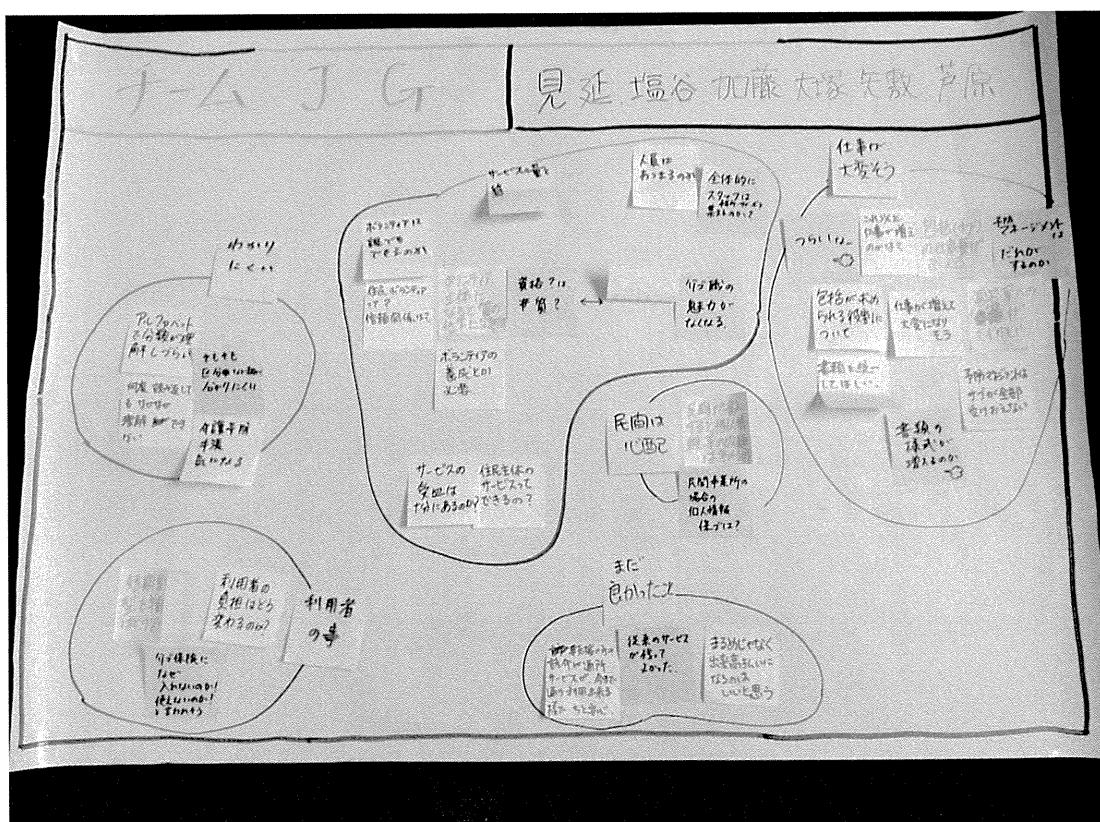


図6 グループワークのまとめ(4)

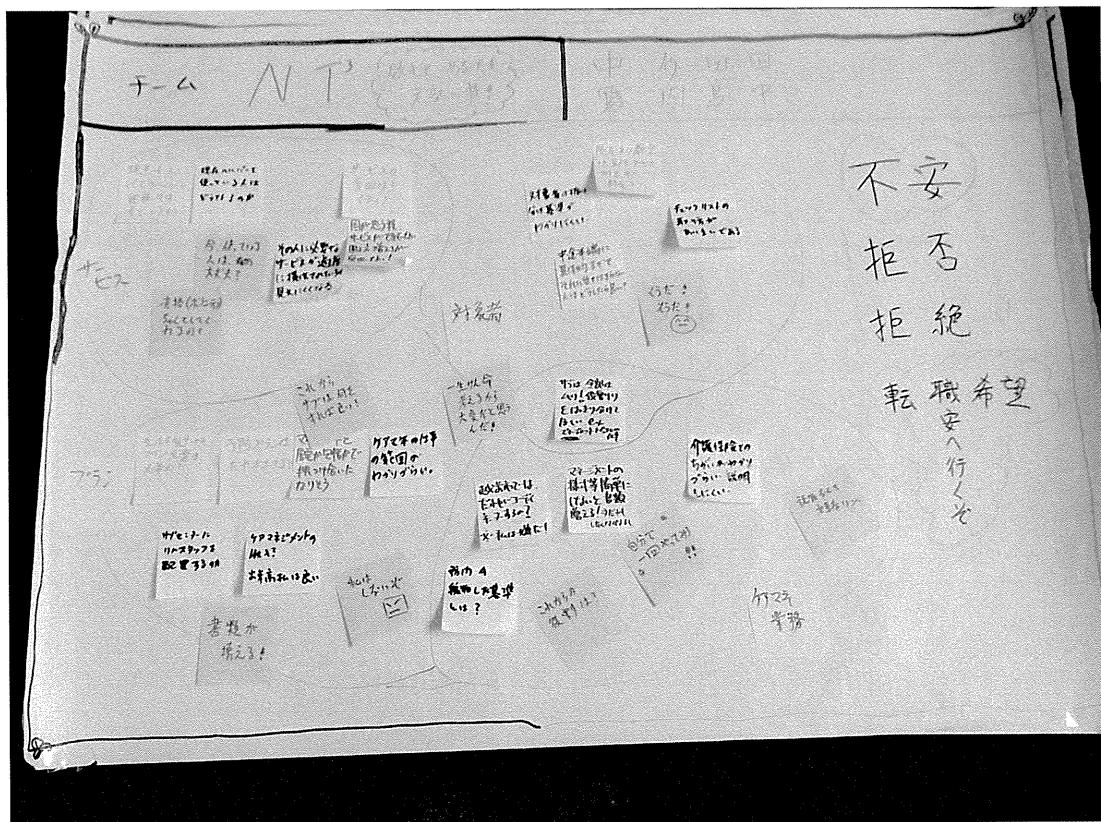


図7 地域ケア個別会議での活用例(1)

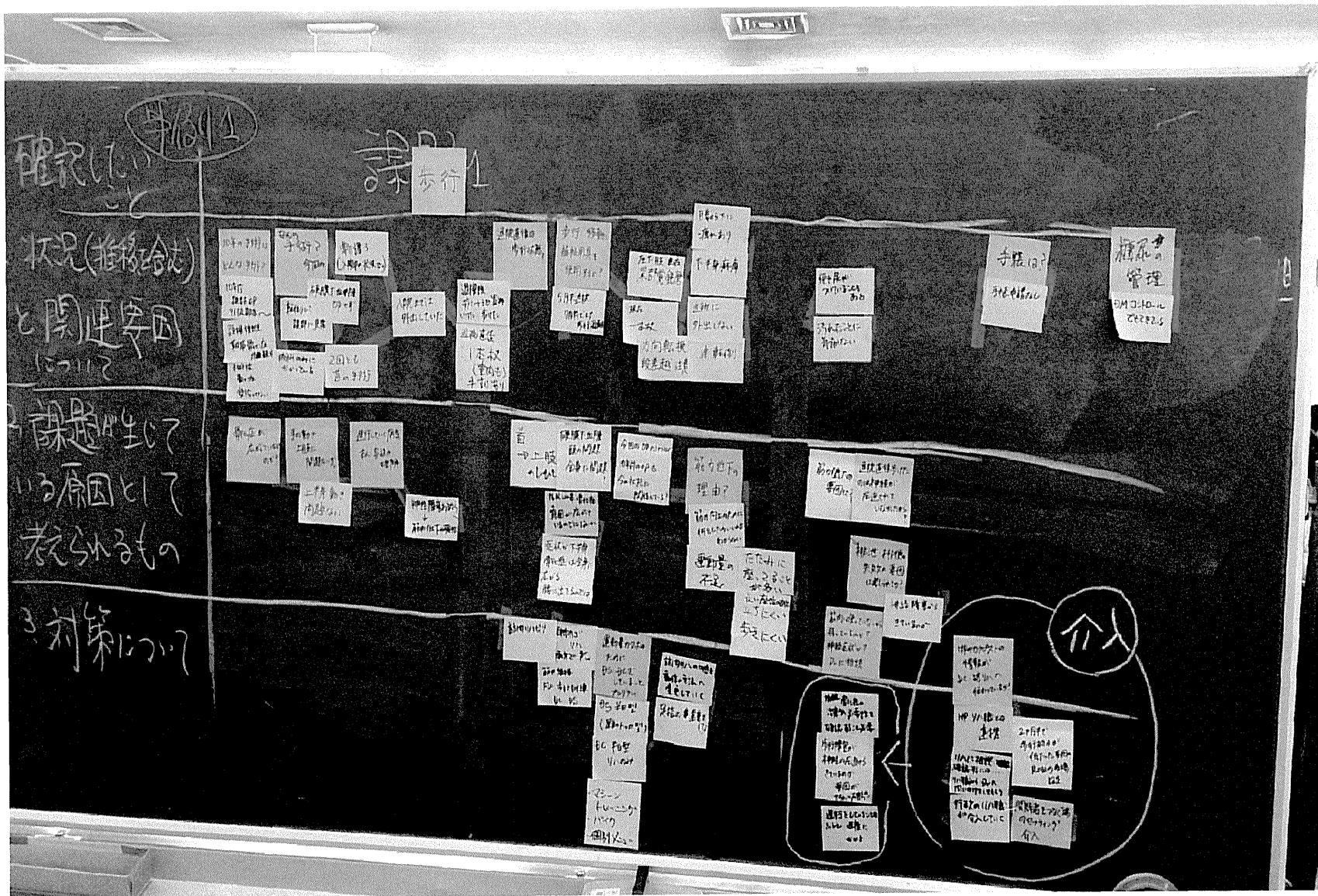
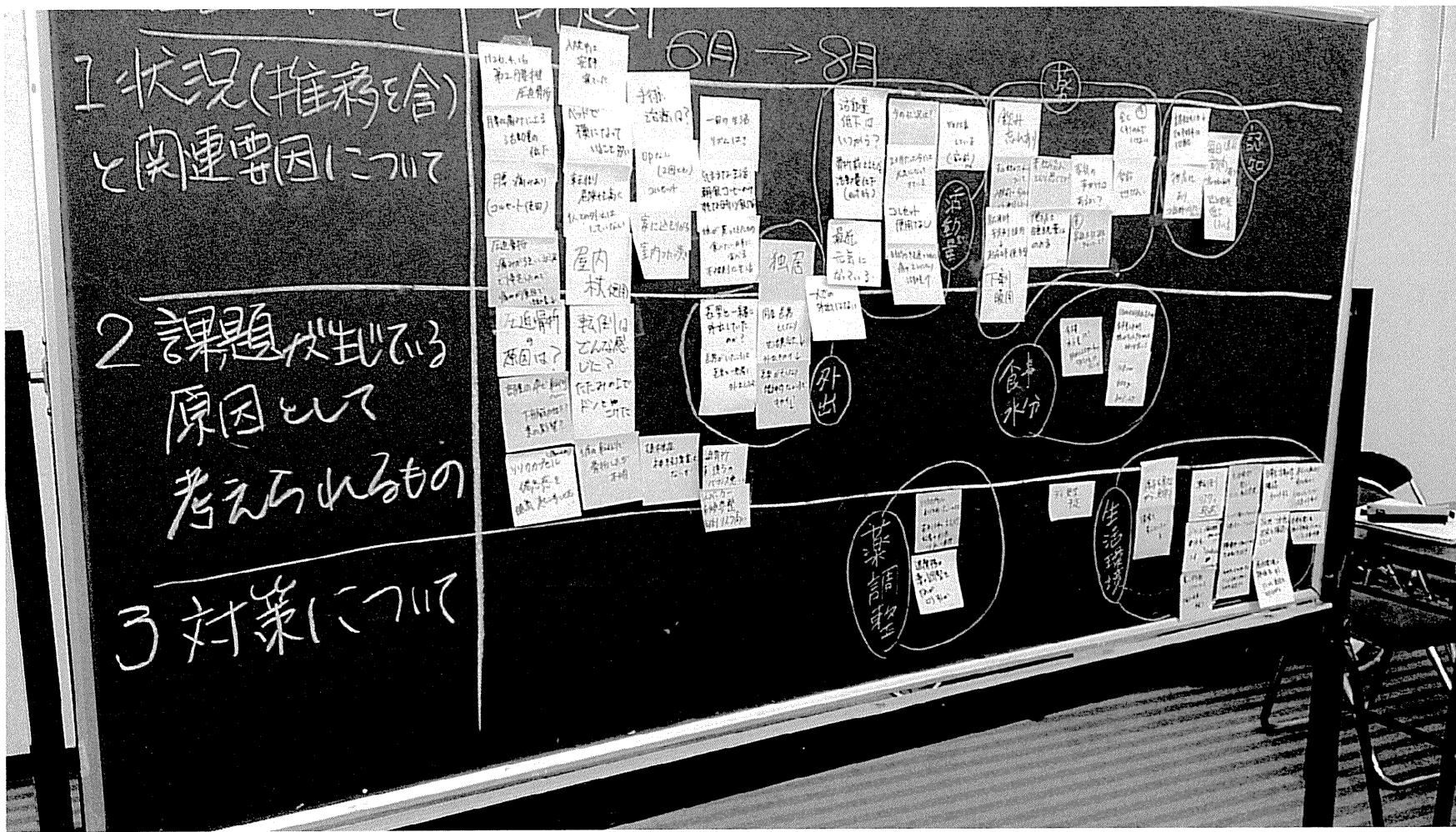


図 8 地域ケア個別会議での活用例(2)



3) 地域ケア推進会議への支援

表3に、地域ケア会議実施に向けた検討経過の概要を示す。

様々な検討を経て、生活支援サービスに関する関係者を集めた「生活支援サービス協議会」を平成27年4月から立ち上げることとなった（そのための準備会（研究会）を3/19に開催することとなった）。

表3. 地域ケア推進会議における検討過程

日付	実施内容
第1回 (2012.6.17)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアに関する国の施策動向紹介 ・これまでの事例から見えてきた課題（事例の概要と主な課題） ・ケア方針決定のためのリハ職アドバイス事業について ・今後の主任ケアマネの育成について
第2回 (2013.2.19)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア推進会議の位置づけの明確化について ・訪問診療利用調査から ・地区診断の事例（報告）
第3回 (2013.8.21)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議から見えてきた課題の解決に向けて ・医療マネジメントについて
第4回 (2013.10.16)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアシステム構築に向けた地域ケア会議の役割と位置づけ ・これまでの地域ケア会議の経過の確認と課題整理 ・9月の地域ケア個別会議を実施して ・ケア職／ケアマネジャーとリハ職の連携強化について ・その他（第6期介護保険計画策定に向けてのスケジュール）
第5回 (2013.12.11)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議を実施して ・ケアプラン作成のためのリハ職派遣事業 ・第6期計画策定のためのニーズ調査の実施について ・顔の見える多職種連携会議 ・推進会議のあり方について
第6回 (2014.5.20)	<ul style="list-style-type: none"> ・「地域包括ケア計画の位置づけと地域包括ケア推進に向けた国の施策動向」について ・各種調査結果の概要報告並びに事実確認 ・第6期介護保険事業計画の位置づけと記載すべき事項
第7回 (2014.8.11)	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症施策の推進について ・介護予防の推進について ・生活支援サービスの充実について ・在宅医療・介護の連携強化について
第8回 (2014.10.24)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア個別会議の進め方についての検証 ・地域医療・在宅ケア連携について今後の取り組みについて ・新しい介護予防事業にむけた事業の検討 ・上記に関する意見交換
第9回 (2014.11.29)	<ul style="list-style-type: none"> ・新地域支援事業について ・新介護予防事業概要について ・上記に関する意見交換 ・地域ケア推進会議の今後の計画
第10回 (2014.12.5)	<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネの理解について ・介護事業所の参加について ・利用者と家族の理解について ・要介護者か要支援者か、非該当かの判定について ・地域支援事業の何のサービスを導入するかのマネジメントについて ・不足しているサービスを創出することについて

表3. 地域ケア推進会議における検討過程（続き）

日付	実施内容
第11回 (2015.1.14)	<ul style="list-style-type: none"> ・今回の個別会議(予防給付プラン)の意見交換 <ul style="list-style-type: none"> ア) 予防給付プランからみた要支援者に必要な支援の検討－ ・新しい総合事業に向けて <ul style="list-style-type: none"> ア) 協議体のための研究会発足について イ) 粟田部「喜楽会」の取り組み
第12回 (2015.2.18)	<ul style="list-style-type: none"> ・第6期介護保険事業計画の概要、重点項目等について ・越前市の介護予防事業の現状と課題 ・自立支援に向けた予防給付プランの点検と課題について ・平成27年度からの委員選出について

生活支援サービス協議体研究会

平成27年3月19日(木)10:00～12:00
越前市福祉健康センター大会議室
(平和堂アルプラザたけふ4階)

1、内 容

- 1) 生活支援サービスと協議体について情報共有
　　国の動向・市の現状等
- 2) メンバーの自己紹介と事業のP R
- 3) 今後の進め方について

2、研究会の構成（予定）

越前市内で、買い物支援や介護予防、居場所づくりなどの活動をされているN P O、協同組合、事業所などの皆様 7か所
越前市社会福祉協議会地域福祉課
越前市役所内の関係課 4課

D. 考察、E. 結論

地域ケア個別会議に関しては、越前市で検討してきた経過や内容について整理とともに、デモ会議を通じて会議の司会者の進行方法の手順を検討・整理した。また、デモ会議を通じて、司会者の育成（ファシリテーション能力の向上）が大きな課題であることがわかった。

そこで、越前市ほかの市町村の司会担当者を対象としたファシリテーション研修会を開催した。同研修では、ファシリテーション総論、基本的な会議の進め方などの講義に加えて、司会進行上の課題に関するグループワーク（課題の整理を含む）を実施した。

司会の進行に関しては、①進め方のイメージがつかない、②医療や福祉といった出身が異なる人をどうまとめていけばよいかわからない、③会議を進めながら、時間の管理や最後のまとめを行うのが難しい（複数のことを同時にできない）、④司会者の立ち位置とその方法（自分の意見を押しつけずに、参加者の意見をうまく集約していく方法）が難しいなどの意見があがつた。

課題の整理方法（ワークショップ形式）は、研修受講者に好評であり、かつ、手法としても容易であることから、研修後に実施した各地の個別ケア会議において実践した結果、司会が進めやすくなった、課題を整理しやすくなったという評価を得た。

司会を行う側としての困難さは、複数のこと（司会進行、時間の管理、意見の集約など）を1人で行う点にあると考えられた。

また、司会者のスタンスとしては、“利用者の課題解決に向けて何をすべきか”を基軸に、参加した専門職の意見を幅広く吸い上げるという姿勢を示すことが重要であると考えた（司会者自身が、誘導したい方向があると、議論が活発にならないことの裏返し）。

F. 研究発表

なし

G. 知的所有権の出願・登録状況

なし

【業務項目③-a】

人材育成プログラムの骨格の検討